

環境経営レポート

令和6年度(2024年度)

対象期間:令和5年(2023年)11月21日～令和6年(2024年)11月20日

宮谷自動車工業株式会社



発行日:令和7年(2025年)2月20日

発行責任者:代表取締役 宮谷 青児

■1.取組対象組織・活動

(1) 事業所名及び代表者名

宮谷自動車工業株式会社

代表取締役社長 宮谷 青児

(2) 所在地

本社・工場 京都府城陽市久世南垣内 39-1

ショールーム 京都府城陽市久世南垣内 34-1

(3) 環境管理責任者氏名及び連絡先

環境保全関係の責任者及び担当者連絡先(電話番号等)

環境管理責任者:代表取締役社長 宮谷 青児

連絡先: [TEL:0774-52-2700](tel:0774-52-2700) [FAX:0774-52-5798](tel:0774-52-5798)

連絡担当者:フロント 宮谷 恵子

連絡先: [TEL:0774-52-2700](tel:0774-52-2700) [FAX:0774-52-5798](tel:0774-52-5798)

mail:miyatanijidousya@maia.eonet.ne.jp

(4) 事業内容

自動車販売・整備・保険取扱い

(5) 事業規模

社員数:10人

売上高:300百万円(令和6年度 2024年度)

	本社・工場	ショールーム
床面積(m ²)	900	660
社員数	10	0
認証・登録	○	○

(6) 過去3年間の環境負荷の実績

	単位	令和4年(2022年)	令和5年(2023年)	令和6年(2024年)
二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂	26,905	22,428	19,745
二酸化炭素排出量原単位	Kg-CO ₂ /百万円	103.5	86.3	65.8
廃棄物排出量	Kg	8,087	10,009	6,855
水使用量	m ³	267	219	212

* 当社の事業年度、環境活動年度は、11月21日から翌年11月20日です。

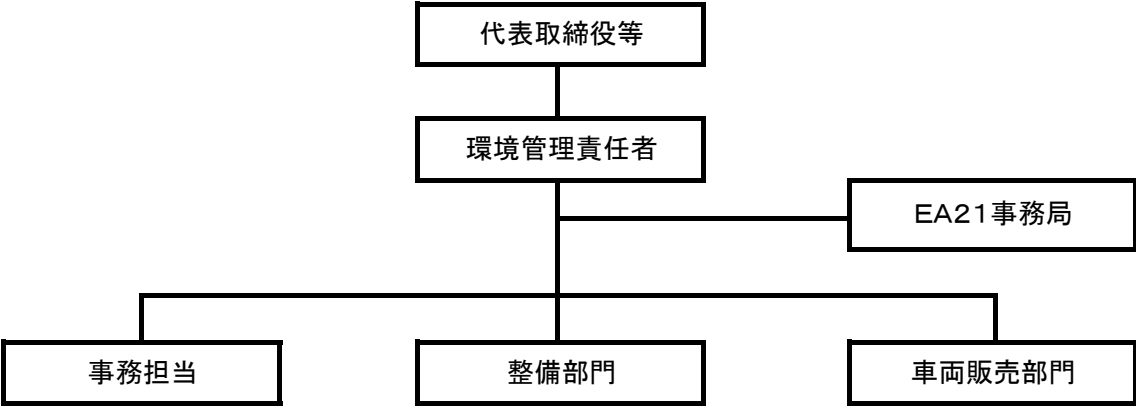
* 購入電力の調整後排出係数は、本社・工場は、2019年12月よりauでんきに変更し、2019年度の0.560kg-CO₂/kWhを、ショールームは、低圧電力は関西電力の2019年度の0.318kg-CO₂/kWhを、従量電灯は、2020年度の(株)オプテージの0.525kg-CO₂/kWhを3ヶ年間固定する。

* 化学物質の使用量は微量の為、目標に掲げません。

■環境経営組織図及び役割・責任・権限表

作成日：2024年11月21日

作成者：宮谷 青児



※全従業員は、当社に構築された環境経営システムを理解し、策定された環境経営方針の下、環境経営目標の達成に向けて、環境経営計画に基づき、一致協力して環境取組を行う。

役割、責任及び権限一覧

担 当	内 容
代表取締役	①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。
	②環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。)
	③環境管理責任者を任命する。
	④環境経営方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。
	⑤代表者による全体の評価と見直し・指示を実施する。
	⑥環境経営レポートの承認して発行する。
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。
	②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。
	③法規制等の遵守状況をチェックする。
	④環境経営方針及び自己チェック等に基づき環境経営目標を設定し、作成された環境経営計画を確認し承認する。
	⑤環境活動の取組状況を確認し、環境経営目標の達成状況を評価する。
	⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。
	⑦環境経営計画の取組結果を代表者へ報告する。
	⑧EA21に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
各部門責任者	①責任範囲の環境経営目標及び環境経営計画の実施とEA21事務局への達成状況の報告。
	②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
EA21事務局	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。
	②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。
	③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。
	④環境経営計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。
	⑤文書及び記録の管理保管。
	⑥外部コミュニケーションの窓口。
	⑦内部コミュニケーションの運営管理。
	⑧従業員に対する教育訓練の実施。
	⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。
	⑩環境経営レポートの作成する。
全従業員	①環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

宮谷自動車工業株式会社

環境経営方針

企業理念

我々は仕事を通じて社会に貢献し、お客様・社員・会社共に成長し繁栄することを使命とします。

環境理念

環境問題は、自動車整備・販売に携わる事業者として最重要課題です。二酸化炭素排出量、廃棄物排出量そして水使用量の削減に取り組めます。特に燃焼効率低下によるエネルギー損失の結果、増加する自動車排気ガスの低減は、自動車整備の専門家として義務と考えます。エコ整備の普及・促進を通じて、燃料消費率の向上、二酸化炭素排出量の削減、及び排出ガスの清浄化により社会に貢献します。

環境行動指針

当社は、京都府で自動車整備、自動車販売等の事業を行っています。この事業活動における環境への影響を理解し、環境経営を優先課題と位置づけて、従業員と協力し、EA21環境経営システムを構築運用し、継続的改善と汚染の予防に努め、以下の事項について自主的、積極的に取り組みます。

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 当社は、次の環境活動を計画的に取組み実施します。
 - ☆ 事業活動に於ける電力及びガソリンなどの削減による二酸化炭素排出量の低減に努めます。
 - ☆ 事業活動に伴い発生する一般廃棄物、産業廃棄物は分別を積極的に実施することにより再資源化と廃棄物の抑制に努めます。
 - ☆ 事業所内で使用する水使用量削減により、総排水量の削減に努めます。
 - ☆ 環境に配慮したエコ整備・エコ車検を推進します。
 - ☆ 自動車リサイクル部品(リビルト品・リサイクル品)の使用を推進します。
 - ☆ 事業所内の5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)活動を推進します。
3. この環境経営方針は全従業員に周知、徹底します。

2008年 2月 4日 制定

2019年11月21日 改訂

宮谷 青児

3 環境経営目標とその実績

エコアクション21は2009年7月から取り組みしています。2023年度の実績を自己チェック等により把握し、その結果を基準値として、2024年度から2026年度までの目標を下記の通り設定し、環境活動に取り組んでいます。尚、このレポートでは、2023年11月21日から2024年11月20日までの2024年度の運用実績について取りまとめました。

						次年度	中長期
環境経営方針	取組事項	年度 単位	基準年 2023年	取組年 2024年度 2023年11月21日～2024年11月20日		2025年	2026年
			(実績)	(目標)	(実績)	(仮目標)	(仮目標)
事業活動に於けるで電力及びガソリンなどの削減による二酸化炭素排出量の低減に努めます。	電力使用量の削減 (単位：kWh)	目標・基準年度比達成率	100%	99%	88.7%	98%	97%
		使用量	36,004	35,644	31,950	35,284	34,924
		(kg-CO ₂)	16,772	16,604	14,931	16,436	16,268
	ガソリン使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年度比達成率	100%	99%	85.1%	98%	97%
		使用量	2,438	2,414	2,075	2,389	2,365
		(kg-CO ₂)	5,656	5,600	4,814	5,543	5,487
二酸化炭素排出量の削減		目標・基準年度比達成率	100%	99%	88.0%	98%	97%
		(kg-CO ₂)	22,428	22,204	19,745	21,980	21,755
二酸化炭素排出量原単位 (CO2/百万円)		目標・基準年度比達成率	100%	98%	63.6%	97%	96%
		CO2/百万円	103.5	101.4	65.8	100.4	99.3
事業活動に伴い発生する一般廃棄物、産業廃棄物は分別を積極的に実施することにより再資源化と廃棄物の抑制に努めます。	分別による廃棄物の再資源化 (単位：％)	目標・基準年度比達成率	—	—	102.5%	—	—
		(％年)	97%	97%	99.4%	97%	97%
事業所内で使用する水使用量削減により、総排水量の削減に努めます。	事業所利用水の節水 (単位：m³)	目標・基準年度比達成率	100%	99%	96.9%	98%	97%
		(m³/年)	218.7	216.5	211.9	214.3	212.1
環境に配慮したエコ整備・エコ車検を推進します。	エコ整備・車検の推進 (単位：台)	目標・基準年度比達成率	—	—	137.5%	—	—
		(台/年)	104	104	143	104	104

目標の説明や補足事項

- 購入電力の調整後排出係数は、本社・工場は、auでんきの 2021年度の0.468kg-CO₂/kWhを、ショールームは、低圧電力は関西電力の2021年度の0.311kg-CO₂/kWhを、従量電灯は、2021年度の(株)オプテージの0.506kg-CO₂/kWhを3ヶ年間固定します
- 廃棄物排出量は、事業活動からの廃棄物に対して総排出量を把握し、再資源化に取り組めます
- 水使用量については、事務所敷地内における水使用量の削減について取組みます
- 環境に配慮したエコ整備・エコ車検を推進します
- 化学物質の取扱いは無いので、目標に掲げません
- 自動車リサイクル品は、お客様の判断に委ねるため、目標に掲げません
- 上記の目標のほか、作業場の環境及び品質安全向上ために5S活動（整理、整頓、清潔、清掃、躰）に取り組めます

4 環境経営計画

環境経営方針	取組事項	目標達成手段	責任部門・担当者
事業活動に於けるで電力及びガソリンなどの削減による二酸化炭素排出量の低減に努めます。	電力使用量の削減 (単位：kWh)	①エアコン温度設定管理（夏28℃、冬：20℃） ②電球のLED化（導入看板） ③昼休みの照明消灯 ④太陽光発電の導入（2024.6～）	事務部門
	ガソリン使用量の削減 (単位：L)	①社用車の省エネ運転（エコドライブ）の推進 ②社用車の定期的点検整備の実施 ③社用車のエコ整備・エコ車検の実施 ④代車のガソリン管理徹底（満タン貸し・満タン返し）	整備部門
事業活動に伴い発生する一般廃棄物、産業廃棄物は分別を積極的に実施することにより再資源化と廃棄物の抑制に努めます。	分別による廃棄物の再資源化 (単位：%)	①産業廃棄物（廃油・廃カーラント・金属くず・廃プラスチック・廃タイヤ・廃バッテリー・段ボール）の分別 ②新聞紙は、足マットに再使用 ③裏紙の使用 ④両面印刷・縮小印刷の活用	整備部門
事業所内で使用する水使用量削減により、総排水量の削減に努めます。	事業所利用水の節水 (単位：m ³)	①洗車時の流しっ放しを防ぐ ②雨水の利用（工場内床掃除・洗車時等）	整備部門
環境に配慮したエコ整備・エコ車検を推進します。	エコ整備・車検の推進 (単位：台)	①環境に配慮したエコ整備・エコ車検を推進 ②エコタイヤ・エコバッテリーの販売促進	整備部門

取組の紹介

- 地域の皆様との交流を深め、より多くの方に身近に感じていただくため、年に1度のお客様感謝祭（ありがとう祭）、地元の小学校の町探検や中学校の職場体験授業の受け入れをしています。
- 作業場の環境及び品質安全向上ために5S活動（整理、整頓、清潔、清掃、躰）に取り組んでいます。

5 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

評価：○達成 △基準年値105%以内達成 ×未達成

環境経営方針	取組事項	年度 単位	取組年 2024年度 2023年11月21日～2024年11月20日		評価	取組の評価	担当責任者
			(目標)	(実績)			
事業活動に於けるで電力及びガソリンなどの削減による二酸化炭素排出量の低減に努めます。	電力使用量の削減 (単位：kWh)	目標・基準年度比達成率	99%	88.7%	○	エアコンの温度管理や不要時の消灯を実施し、電力削減に努めた。ショールームの使用(2022.1～)による電力使用量が増えた。太陽光の効果が現れています。	事務部門
		使用量	35,644	31,950			
		(kg-CO ₂)	16,604	14,931			
	ガソリン使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年度比達成率	99%	85.1%	○	省エネ運転(エコドライブ)の推進や点検整備を実施して、ガソリン使用量削減に努めた	整備部門
		使用量	2,414	2,075			
		(kg-CO ₂)	5,600	4,814			
二酸化炭素排出量の削減	目標・基準年度比達成率	99%	88%	○			
	(kg-CO ₂)	22,204	19,745				
二酸化炭素排出量原単位 (CO2/百万円)	目標・基準年度比達成率	98%	64%	○			
	CO2/百万円	101.4	65.8				
事業活動に伴い発生する一般廃棄物、産業廃棄物は分別を積極的に実施することにより再資源化と廃棄物の抑制に努めます。	分別による廃棄物の再資源化 (単位：%)	目標・基準年度比達成率	—	102.5%	○	廃棄物は分別を徹底して、リサイクルに努めた	整備部門
		(%年)	97%	99%			
事業所内で使用する水使用量削減により、総排水量の削減に努めます。	事業所利用水の節水 (単位：㎡)	目標・基準年度比達成率	99%	96.9%	○	洗車時の流しっ放しはしない、また雨水の利用に努め、水使用量削減に努めたが、洗車台数が増加し目標を超過した。次年度は基準値を変更して取り組む	整備部門
		(㎡/年)	216.5	211.9			
環境に配慮したエコ整備・エコ車検を推進します。	エコ整備・車検の推進 (単位：台)	目標・基準年度比達成率	—	137.5%	○	環境に配慮したエコ整備・エコ車検を推進した	整備部門
		(台/年)	104	143			

今年度の主な環境経営計画の実績・取組結果の内容

- 二酸化炭素排出量削減取り組みでは、節電やアイドルストップやエコドライブ等の目標達成手段を実施した
- 廃棄物排出量は、事業活動からの廃棄物に対して総排出量を把握し、再資源化に努めた
- 水使用量については、事務所敷地内における水使用量の削減に取り組みした。また雨水利用で、削減に努めた
- 環境に配慮したエコ整備・エコ車検を推進した
- 自動車リサイクル品は、お客様の判断に委ねるが、普及活動に努めた
- 作業場の環境及び品質安全向上のために5S活動（整理、整頓、清潔、清掃、躰）に取り組みした

次年度の主な環境経営計画の内容

- 二酸化炭素排出量削減取り組みでは、節電やアイドルストップやエコドライブ等の目標達成手段を実施する
- 廃棄物排出量は、事業活動からの廃棄物に対して総排出量を把握し、再資源化に努める
- 水使用量については、事務所敷地内における水使用量の削減に取り組む。また雨水利用で、削減に努める
- 環境に配慮したエコ整備・エコ車検を推進する
- 自動車リサイクル品は、お客様の判断に委ねるが、普及活動に努める
- 作業場の環境及び品質安全向上のために5S活動（整理、整頓、清潔、清掃、躰）に取り組む

6 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反や訴訟等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、適正処理	遵守
自動車リサイクル法	廃自動車のリサイクル券等適正処理	遵守
家電リサイクル法	家電リサイクル券適正処理	遵守
資源有効利用法	パソコン等適正処理	遵守
騒音規制法	対象特定施設の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	対象特定施設の届出、規制値の遵守	遵守
消防法	対象危険物保管の届出	遵守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の簡易点検記録、廃棄、点検記録の保存	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	遵守
注：適用される法規制等と遵守状況は、環境関連法規等の遵守状況のチェック結果に基づき記載します。		

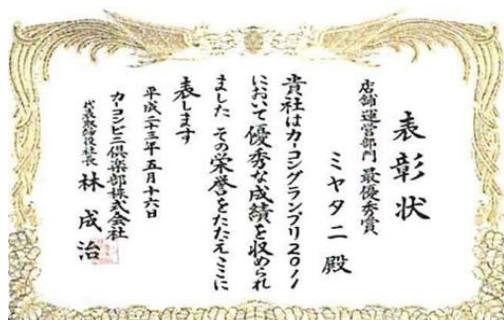
7 代表者による全体の評価と見直し・指示

電力・ガソリン使用量の削減により、CO₂排出量を計画比88%まで抑制できた点は高く評価できます。特に、電力使用量の削減は太陽光発電の導入により効果が現れて、ガソリン使用量（85.1%）も効率よい活動の成果が現れています。廃棄物の分別・再資源化については目標値（97%）を上回る99%を達成し、適切な分別とリサイクル推進が確認されました。水使用量は目標は達成しており、日頃から雨水利用や流しっぱなし防止など具体的な行動が取られた点は好評価です。また、エコ整備・車検は137.5%と大幅に目標超えで、環境配慮型サービスの推進が進んでいることが伺えます。今後も改善余地を活かしつつ、継続的なエネルギー管理と従業員の意識向上で、より良い成果を目指していきましょう。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり

■当社の取組のご紹介

カーコンビニ倶楽部



エコ整備

大気汚染や地球温暖化の原因とされる、自動車の有害な排出ガスを最小限に抑えるための整備の他、自動車から発生する排気騒音や走行騒音・振動等の低減整備『環境汚染防止整備』を推進しています。

当社の、エコ整備推進活動の一部です。



東京海上日動火災保険株式会社代理店

損害保険代理店ポリシー

不十分・不適切な自動車保険契約は意外に多く、それらはすべて契約者であるお客様の不利益となります。

私どもは損害保険代理店として、お客様の安全で安心できるカーライフのためには、自動車保険の証券内容の確認とアドバイスをを行っています。

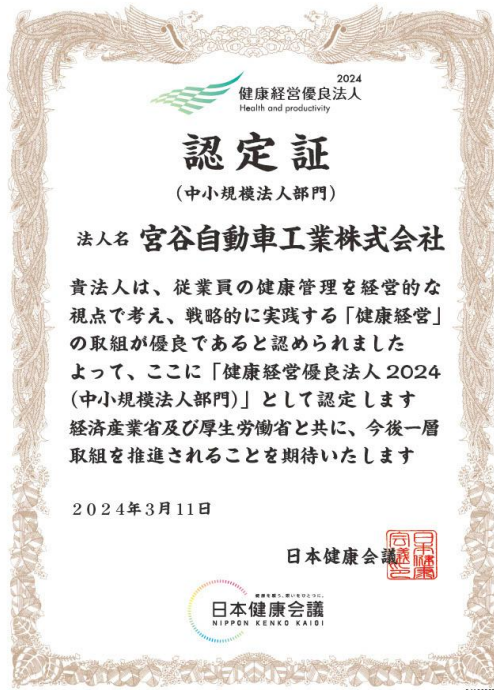
これは自動車保険の契約をお願いするものではありません。弊社が指摘させて頂きました内容につきましては、お取引のある損害保険代理店様にご相談頂き、是正して頂ければそれで結構です。私たちは、お客様がより良い自動車保険に加入されますことを願っています。

地域の皆様との様々な交流

地域の皆様との交流を深め、より多くの方に身近に感じていただくため、年に1度のお客様感謝祭(ありがとう祭)、地元の小学校の町探検や中学校の職場体験授業の受け入れをしています。2023度に引き続き今年度もコロナ禍以前の規模でお客様感謝祭を開催することができました。たくさんのお客様にご来店いただきました。



健康経営優良法人に今年も認定されました



経済産業省と日本健康会議が主催する「健康経営優良法人認定制度」において、「健康経営優良法人(中小規模法人部門)」に認定されました。

健康経営優良法人とは、従業員の健康管理や健康増進の取り組みについて、特に優良認められた法人のことで、3年連続取得しています。従業員が心身ともに健康でいきいき働ける会社であり続けることを実現するため、今後も従業員の生産性および企業価値向上のために健康経営を進めてまいります。